

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	壱岐市立鯨伏小学校
授業者	赤岩 弘明

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

海洋教育

#### 1-2. 学年

6年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

オリエンテーションに外部講師を招聘し、海について授業を行う。海にはどのような魅力があるのか、海が私たちの生活とどのように関わってきたのか等、学習の導入を行う。

5・6年生が老人ホームへ出かけ、鯨伏地区の昔の海の様子、海と私たちの生活との関わりなどについて高齢者からの聞き取りを行う。

6年生が現在の壱岐の海を仕事場にしている人たちに話を聞き、現在の海の魅力や課題、心配されることなどについて調べる。昔と現在、2つの海について調べたことをまとめる。まとめたことをもとにステージ発表を行う。

全校児童に対し、今年度の学びを広げる学習を行う。それぞれの学年に応じ、鯨伏の海の様子、海との関わりについて、航空写真をもとに学習する。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本市は、周りを海に囲まれた島である。また、本校は湯の本湾を目の前にした場所にあり、児童は常に海を身近に感じ取れる環境にある。しかし、日常生活で児童が海に触れたり目を向けたりする機会は少なく、今の海の状況・環境への関心は低い。

そこで、海洋教育を設定することで、児童に海の問題に気付かせ、これからの海を大切にすることを育みたいと考えた。それにより、ふるさと「壱岐・鯨伏」への愛着も更に深めることができるであろう。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

壱岐や自分の住んでいる地域の自然や歴史を「海」という視点から理解することで、地域の豊かさをこれまでと異なった視点から把握する力

壱岐や自分の住んでいる地域の現状や課題を多角的に把握することで、愛着を持ちつつ、探究的視点を持って地域へ関わっていく力

自然や歴史、地域の人々と関わる中で自らの考えを育み、他者との対話の中で主体的に表現していく力

1-7. 単元の展開（全12時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	1 オリエンテーション 他地域の実践事例を踏まえた海洋教育の導入 全12時間にわたる学習計画表の作成	「海洋教育プロジェクトメンバー（外部講師）による授業展開」 壱岐市と海との歴史・文化・産業での関わり、壱岐の海的环境変化（磯焼けや漁獲量の減少）について、多くの画像や資料から考えたことを書き留めさせたり、発表させたりする。 ＜評価＞ 海についての問題意識を高めることができたか。 (検証方法：発言、ワークシートの記述)
3	2 壱岐の海の「昔」について聞いてみよう 壱岐市立老人ホームでの聞き取り活動	壱岐市や鯨伏地区の海が昔どのような状況であったか、保護者世代より更に前の時間軸にさかのぼって聞き取りを行わせる。 ＜評価＞ 積極的に質問したり、聞き取ったことを詳細に書き留めたりすることができたか。 (検証方法：ワークシートの記述)
3	3 壱岐の海の「今」について聞いてみよう 壱岐振興局の方、海女さん、釣り師さんからの聞き取り活動	壱岐市や鯨伏地区の海が近年どのような状況にあるのか、現在海と深い関わりを持っている方々に聞き取りを行わせる。 ＜評価＞ 積極的に質問したり、聞き取ったことを詳細に書き留めたりすることができたか。 (検証方法：ワークシートの記述)
3	4 2つのインタビューを振り返ろう それぞれが抱く海への願いや思いの観点からの話し合い活動	聞き取った方々の話から、児童にとって海がどのような存在になったかについて話し合ったりワークシートにまとめたりさせる。 ＜評価＞ 情報や事実に加え、願いや思いを膨らませ、広げることができたか。 (検証方法：発言、ワークシートの記述)
1	5 6年間の鯨伏での学びを発表しよう 1から4の活動の成果を脚本にしたステージ発表	全校児童・保護者・地域の方々が参観する学習発表会で、インタビューの様子や学びのまとめを演技・映像で表現させる。 ＜評価＞ 自信を持って学びの集大成を表現・発信することができたか。 (検証方法：ステージ発表での態度・様子)

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 1 2 時間中の 6・7 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

壱岐の今の海について、3人のゲストに質問したい内容を3つのグループごとに話し合い、「インタビューマニュアル」を作ることができる。

また、3つのグループごとに、それを基にしたリハーサルをして、適切に修正し完成することができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 壱岐市立老人ホームでの交流・聞き取り活動を振り返る。</p> <p>2 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今、海と深く関わっている3人の方々に、今の海について聞き取りをするための「インタビューマニュアル」を作ろう。</p> </div> <p>3 新たな3人のゲストに対する質問内容を各自で考える。</p> <p>4 3人のゲストごとに3つのグループに分かれ、話し合う。</p>	<p>○ どんな話が印象に残っているか、インタビューをしていて難しいと感じたことは何かについて、数名に発表させる。</p> <p>○ 昔の海の状況や知りたかったことについて、十分に聞き取りができたことを認め合うようにする。</p> <p>○ 昔の海に対して、これからは今の海を中心に聞き取り活動を進めていくこと、聞き取りの相手として、「壱岐振興局の方」「海女さん」「釣り師」がいらっしゃることを学習計画表から確認する。</p> <p>○ 3人のゲストのうち、事前に決めておいた聞き取りをするゲストに聞いてみたいことをワークシートに思い付くままに書き出させる。</p> <p>&lt;評価&gt; 海の過去と現在、歴史を意識し、自分との深い関わりのあるものとして、海に係る質問事項を多面的に考えることができたか。 (検証方法：ワークシートの記述)</p> <p>○ 4人ずつの3つのグループに分かれ、各自が考えた質問を出し合わせる。重複した内容は1つにまとめるようにして、グループ全体で10程度に集約させる。</p> <p>○ どんな質問をすれば、その人の海への思いや願いが聞き取れるかを各グループに投げかけていく。</p>

<p>5 質問内容を含めた当日の「インタビューマニュアル」を作る。</p>	<p>○ 挨拶・自己紹介から始まる一連のインタビューの流れや台詞が書かれているマニュアルをグループごとに作成させる。</p> <p>○ 台詞や質問事項の4人での役割分担も決めさせる。</p>
<p>6 リハーサルを通して、「インタビューマニュアル」の修正を行い、完成させる。</p>	<p>○ 作成したマニュアルに従って、グループごとにリハーサルをして、気付きを出し合い、修正活動を行わせる。</p> <p>&lt;評価&gt; マニュアルを適切に修正し、完成することができたか。 (検証方法：マニュアルの完成度)</p>
<p>7 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p>	<p>○ 3つの「インタビューマニュアル」がそれぞれに完成したことを認め合い、当日のインタビューが成功することへの期待感を持たせる。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

<p>○ 児童が、3人のゲストそれぞれの立場に合った質問事項を多面的に考え出し、意欲的に取り組んだ。どんな質問をすれば、その人の海への思いや願いが聞き取れるかという視点での質問事項の設定は、本学級の児童にとって難しい面があり、教師からの具体的ないくつかの例示が必要であった。</p> <p>また、質問のやり取りが一問一答式や一方的になったりしないための流れの工夫・方策をマニュアルに盛り込んでおかなければならない。</p>
---

### 4. 今後の課題

<p>海についての聞き取り・インタビューを活動の中心として、その内容をまとめたり表現したりすることで完結したが、そこからの発展的活動として、ワークショップ「海に出かけての活動」を仕組みたい。</p> <p>児童自らの視点を持った調査活動や海洋ゴミ回収活動等を設定して、より積極的・活動的な内容を設定したい。</p>
---

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<p>特になし。</p>
--------------

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。